



富士電機ホールディングス株式会社

2007年度 第1四半期業績のお知らせ(連結)

2007年4月1日～6月30日

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は、株主の皆様に一層ご愛顧いただけるよう、富士電機グループについてご理解を深めていただくための取り組みをさらに進めてまいります。

業績のご報告につきましては、中間期、通期の年2回お届けしていましたが、今後は四半期毎にお届けするとともに、新たに工場見学会や関西地区でグループ概況説明会を開催いたします。

今後も株主の皆様との積極的なコミュニケーションに努めてまいりますので、宜しくご支援の程、お願い申し上げます。



取締役社長 伊藤 晴夫

第1四半期業績のポイント

- 当社グループの売上高、利益は、プラント事業を担当する電機システム部門を中心に、例年第4四半期に集中します。
- 第1四半期の売上高は前年同期比3.4%減の1,829億円、営業損益は、6億円減の△30億円となりました。

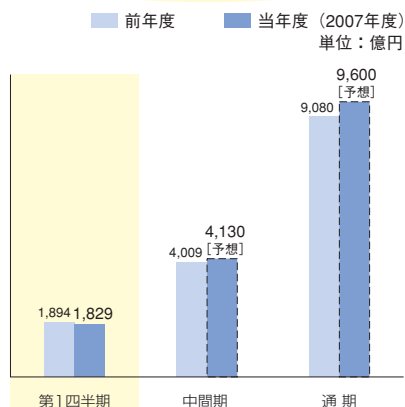
第1四半期業績の概況

売上高は、機器・制御、リテイルシステムの両部門において伸長しましたが、大口案件の減少により電機システム部門が前年同期を下回り、前年同期比3.4%減の1,829億円となりました。

利益面は、素材価格の高騰、税制改正に伴う減価償却制度の見直し、売上高の減少影響、市場価格の下落等を主因として、営業損益は前年同期比6億円減の△30億円、四半期純損益は前年同期並みの△4億円となりました。

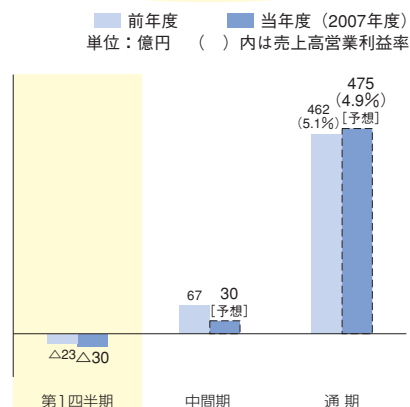
■ 連結売上高

目標：2008年度 1兆円以上

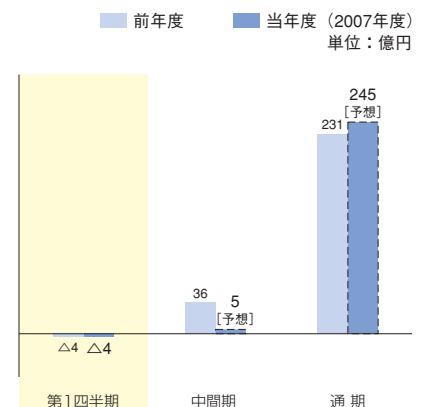


■ 連結営業損益

目標：売上高営業利益率 2008年度 7%以上



■ 連結当期純損益



第131回定時株主総会を開催しました

6月26日、ウェスティンホテル東京（東京都目黒区）において第131回定時株主総会を開催しました。

当日は、過去最高となる348名のご出席を賜り、書面、インターネットによる事前行使を含め、約77%の議決権行使をいただき、すべての議案について原案どおり承認可決いただきました。

また、株主総会の終了後に、伊藤社長による経営方針の説明会を開催するとともに、太陽電池など今後の注力製品の展示や自販機の実演を行い、多数の株主の皆様にご覧いただきました。



議事内容

- 【報告事項】**
1. 第131期（2006年度）の事業報告、連結計算書類および計算書類の内容
 2. 会計監査人、監査役会の監査結果の内容
- 【決議事項】**
1. 任期満了に伴う取締役の選任
 2. 取締役および監査役の報酬枠の改定
 3. 退任取締役に対する退職慰労金の贈呈、および退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給



総会 Q&A

Q 2006年度は好業績であったが、年度業績に応じて配当額を決定してもよいのでは？

A 当社グループは、株主の皆様に対する利益還元の方針として、安定的かつ継続的に配当を実施し、連結業績のほか、今後の成長に向けた研究開発・設備投資計画および経営環境を勘案し、配当金額を決定することとしています。2006年度の配当につきましては、前年度より1株当たり1円増配の年8円とさせていただくとともに、中期経営計画に基づくグループの成長に向け、内部留保金を有効活用させていただきます。

Q 自社株式を保有していない候補者がいるが、保有を義務付けるべきでは？

A 常勤の取締役については、株主の皆様と利害を共有し、株価を意識した経営を行うため、従来より報酬の一部を役員持株会に拠出し、自社株式を取得しておりますが、今回、役員報酬制度を改定し、拠出額を大幅に増額しております。一方、非常勤の取締役については、グループ全体の業務執行の監督という職責に鑑み、独立性の観点から、自社株式の取得は任意としています。

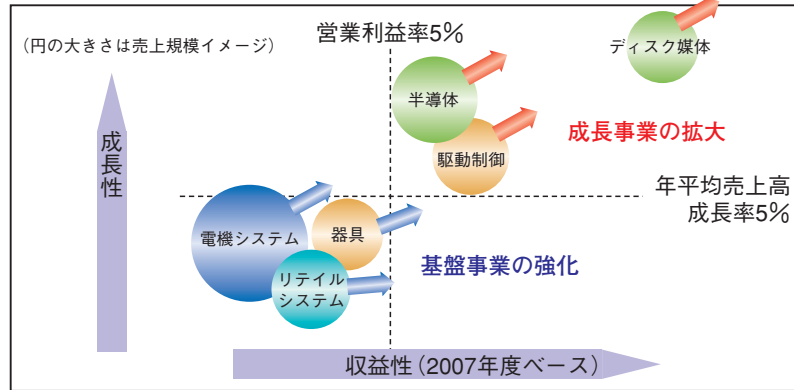
役員体制

第1号議案のご承認に伴い、当社の役員体制は次のとおりとなりました。

代表取締役 取締役社長	伊藤 晴 夫	取締役 関 澤 義（非常勤）	常勤監査役 森 田 善 太
		取締役 正 田 英 介（非常勤）	常勤監査役 吉 田 克 巳
代表取締役 取締役副社長	斎 藤 邦 良	取締役 工 藤 正（非常勤）	監査役 長 濱 毅（非常勤）
		取締役 中 山 克 志（新任）	監査役 奥 田 志 郎（非常勤）
		取締役 辻 正 教	監査役 藤 田 讓（非常勤）
		取締役 佐 藤 恵 二（新任）	

グループ経営方針（第131回定時株主総会後の説明会資料より抜粋、一部修正）

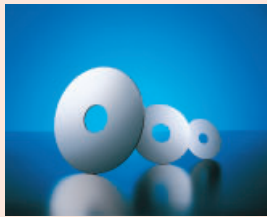
富士電機グループが目指す
事業ポートフォリオ



成長事業の拡大

ディスク媒体

- 積極的な研究開発投資と設備投資
《2.5インチガラス媒体》
記録密度が世界最大容量の160GB品を量産開始
世界トップクラスの技術力



半導体

- 松本・フィリピン・マレーシアにおける生産設備の新設・増設



駆動制御

- 北米地域の販売・サービス拠点の強化
- 海外生産拠点の強化（中国、北米、欧州）



基盤事業の強化

リテイルシステム

- 高付加価値自販機製品の展開
社会貢献・環境対応型ベンダー等
- 電子マネー関連機器の強化・育成
Suica、Edy、PASMOカード等の対応



器具

- 他社と協業による事業強化
- 海外売上高の拡大



電機システム

- 民需分野の拡大
《環境・クリーンエネルギー》
- 大型地熱プロジェクトの強化
- 太陽電池の生産性向上



TOPICS 当社グループの太陽電池がチョモランマで活躍

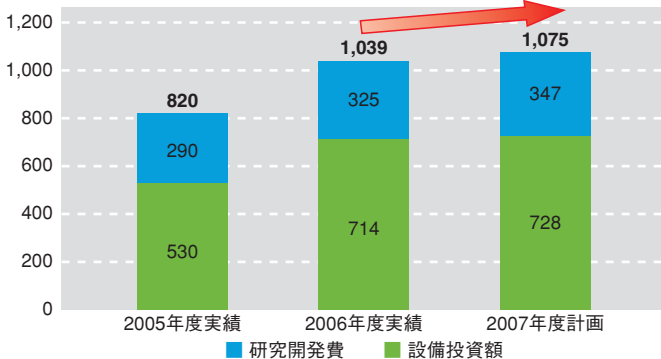
アルピニストの野口健さんが5月にチョモランマ登頂に成功した際、通信機材などへの電源として、当社グループのアモルファス太陽電池が使用されました。
「丸めて持ち運びも簡単。軽量で濡れても大丈夫」と高い評価をいただきました。



グループの成長戦略

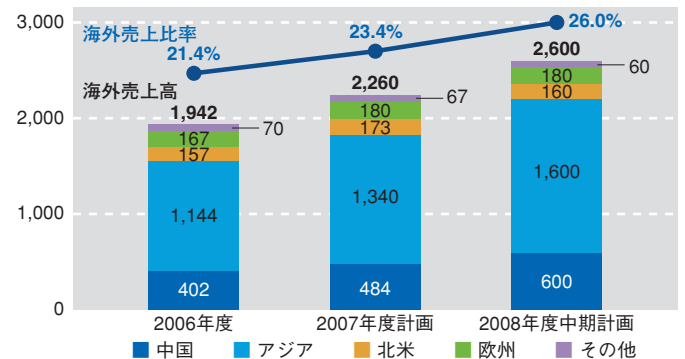
積極的な投資

単位：億円



海外事業の拡大

単位：億円

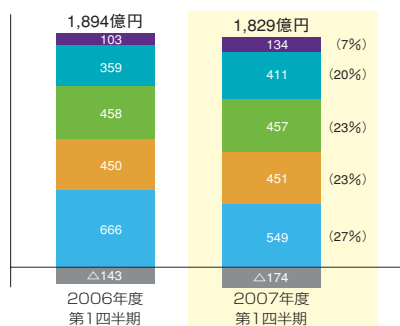


部門別の状況

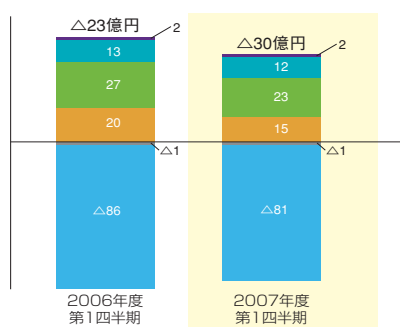
【部門別構成】

- 電機システム部門
- 電子デバイス部門
- その他部門
- 機器・制御部門
- リテイルシステム部門
- 消去（または全社）

連結売上高 単位：億円（ ）構成比率



連結営業損益 単位：億円



電機システム部門

売上高は、大口案件の減少により、前年同期に比べ17.5%減の549億円となりましたが、営業損益は、民需分野の中小口案件の粗利益率の改善およびコストダウンにより、4億円改善し、△81億円となりました。

機器・制御部門

国内の好調業種、中国などへのグローバル対応製品の拡販に注力しましたが、素材価格の高騰、固定費の増加影響により、売上高は前年同期に比べ0.1%増の451億円、営業利益は5億円減の15億円となりました。

電子デバイス部門

半導体が伸長したものの、ディスク媒体における主要顧客の販売減の影響により、売上高は前年同期に比べ0.3%減の457億円、営業利益は4億円減の23億円となりました。

リテイルシステム部門

売上高は、既設のたばこ自販機の成人識別改造作業の需要取り込み等により、前年同期比14.5%増の411億円となりましたが、営業利益は、自販機の生産調整の影響等により、1億円減の12億円となりました。

中間期の連結業績予想（7月27日発表）

	前回発表（4/26）	今回発表（7/27）	増減額
売上高	4,200億円	4,130億円	△70億円
営業利益	55億円	30億円	△25億円
中間純利益	20億円	5億円	△15億円

売上高は、電機システム部門で当初計画を上回る見込みですが、ディスク媒体分野で生産設備の垂直記録方式への対応を加速推進することに伴う減少のほか、「機器・制御」、「リテイルシステム」の各部門において下回る結果、全体としては当初計画を下回る見込みであります。

損益面は、電機システム部門で当初計画を上回る見込みですが、ディスク媒体分野の売上高が減少する電子デバイス部門、自販機の売上高が減少するリテイルシステム部門において下回る結果、全体としては当初計画を下回る見込みであります。

なお、通期の業績見直しに変更はありません。

【注記事項】上記の業績予想は、市場における当社グループ製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動等により、実際の業績と異なる場合があります。ご了承ください。

配当金を「郵便振替支払通知書」でお受け取りの株主の皆様へ

第131期の期末配当金はお受け取りになりましたか？

第131期期末配当金のお支払い書類は、6月4日付けでお届出住所宛お送りしておりますが、郵便局でのお支払い期間（本年7月13日まで）が経過しております。

まだお受け取りになられていない場合は、お手元の郵便振替支払通知書を中央三井信託銀行の本支店の窓口にお持ちいただければ、配当金を受け取ることができます。

また、郵送でもお取り扱いできますので、郵便振替支払通知書の表面の「受領者印章」欄にお届出印を押印し、裏面にお受け取りの方法等をご指定のうえ、右記までお送りくださるようお願い申し上げます。

第131期期末配当金は2010年6月5日までお受け取りが可能です。

■ 郵便物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）

富士電機ホールディングス株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号（ゲートシティ大崎イーストタワー）
電話 (03) 5435-7111
<http://www.fujielectric.co.jp>